



# 資金運用と管理の適切な方法

ベット金額、回し方、そして管理

資金運用  
と  
管理

トレードを行うなら**複利運用**は必須!

どのようにすれば**計画的に資金**を扱え、

そして増やせるのか!

## 【著作権について】

- このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
- 著作権は ライフ出版 株式会社 に帰属します。
- このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- 使用者は本冊子から得た情報を、著者の事前の許可なく一般に公開する事を禁止します。
- このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等であり、著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- このレポートを利用することにより生じた、いかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

## 目次

◆はじめに／お金を扱うということについて	3
◆複利運用で資金を着実に増やす	5
・複利運用で資金を増やすことは必須	5
・単利運用とは？	6
◆複利運用と単利運用の資金の増え方の違い	8
◆複利運用のエントリー額	10
・ベット額は資金の「10%」です	10
・負けてもエントリー額は「10%」を保持	11
◆限度ベット額は最高20万円・そしてリセット	12
◆資金運用と管理／リセット方式	15
◆さいごに／人類最大の発明・複利	16

## ◆はじめに／お金を扱うということについて

投資には、株式投資、バイナリーオプション、FX、仮想通貨取引と様々ありますが、どれも共通して行うことがあります。

それは、資金を増やすための「運用と管理」です。

「お金」、つまり「資金」というものを扱う上において、適切な運用と管理というものは、ごく自然なものであり、また必要なことです。

ここも行き当たりばったりのギャンブルとは違う点です。

いくら元手資金からはじめ、一回のトレードでその資金の何パーセントを使い、そして、勝ったときもしくは負けたとき、そこをどのように次の資金に使うのか。

全て、1円単位で、運用と管理をしていく必要があります。

例えトレードに勝っても、ここの部分を怠ると増えるはずの利益も、隙間からこぼれ落ちるように、あなたの手からすり抜けていきます。

お金を扱うということは、適切な運用と管理は必ずついて回ります。

きちんと計画をたててから実践の投資へと進みましょう。

## 【リセット方式】

本CLUBではトレードにおいて資金運用・管理を「7事項」にわけ、その一連の流れを1セットとした「リセット方式」を採用しています。

### ～リセット方式による「7事項」～

- ① 元資金はどれぐらいが目安なのか？
- ② ベット金額はいくらにするのか？
- ③ 利益が出た場合、その利益分をどのように使うのか？
- ④ 損が出た場合、次の段階はどのように対処するか？
- ⑤ 出金のタイミングは？
- ⑥ 出金する場合、金額はどれぐらいが良いのか？
- ⑦ 出金した後は、どのように次のステップに進むのか？

これが「リセット方式」の一連の流れとなります。

上記「7事項」の質問に対する答えを、本PDFを通して、これから紐解いていくわけですが、まずはトレーダーとして最もポピュラーかつ、最も利益を得られる方法、ここから話しを進めていきます。

それは「**複利**」の話です。

## ◆複利運用で資金を着実に増やす

### ・複利運用で資金を増やすことは必須

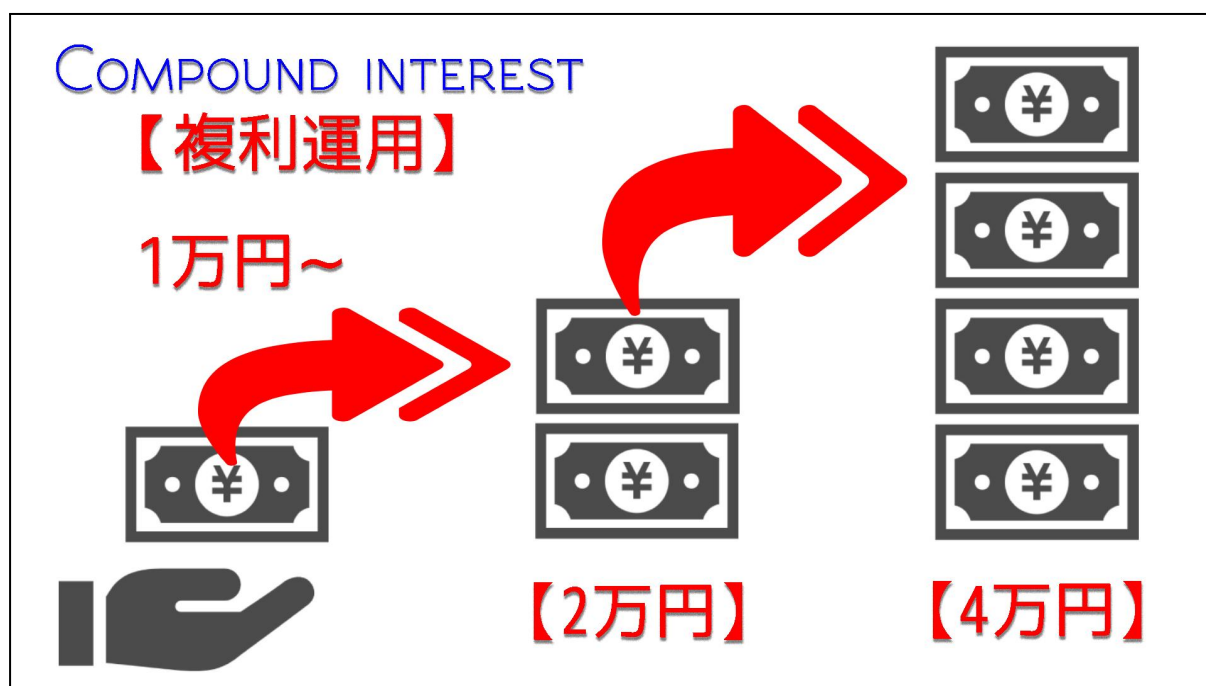
バイナリーオプションに関わらず、投資では、資金を安定的かつスピーディに増やすには、複利運用を必ずといってよいほど活用します。

複利運用とは、バイナリーオプションの取引で得た利益を「上乗せ」した元手資金を再投資していく資産運用方法です。

例えば、元手資金が「1万円」で、1回のエントリー額を「元手資金の10%(1,000円)」で取引するとします。

そして、その1万円が1日目で「2万円」になったとしましょう。

この場合、1万円が利益になりますが、この1万円を出金せず、「2万円」になった元手資金を使って再投資します。



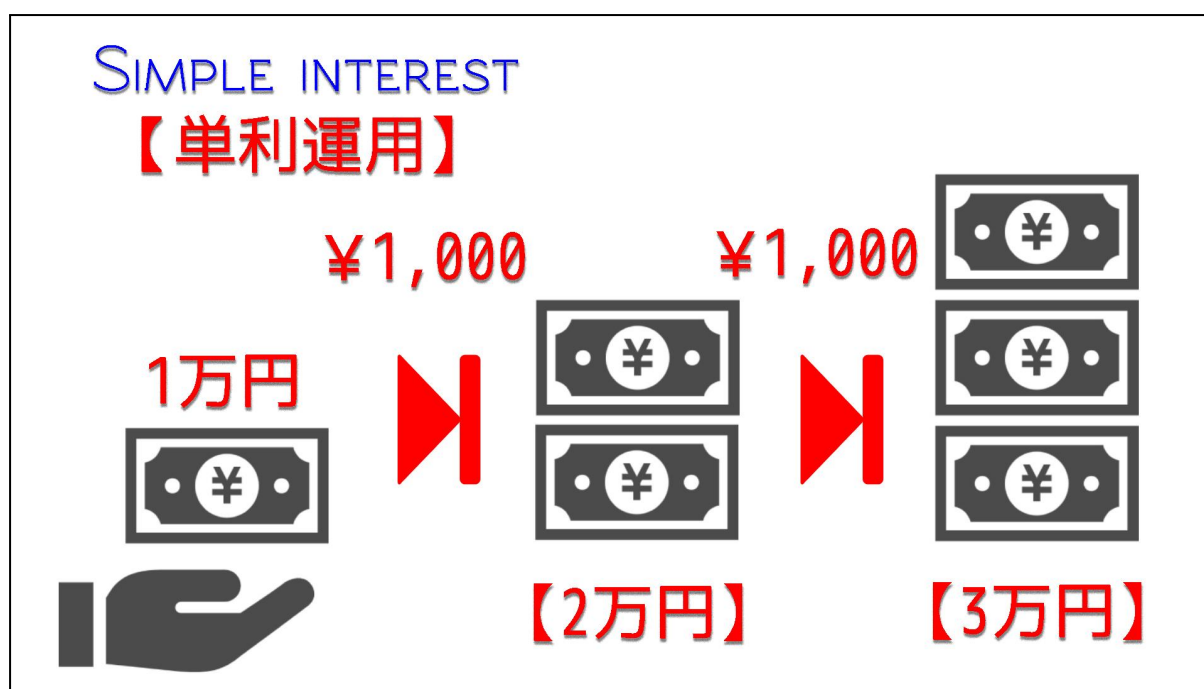
再投資をして、また再投資をして、の繰り返しになります。

反対に、もう一つある資産運用方法が「単利運用」です。

### ・単利運用とは？

単利運用とは、出た利益を回収してしまい、  
どれだけ利益が出たとしても、  
「エントリー額を変えない」取引方法のことです。

例えば、ベット額を1,000円に決めて、  
1万円が2万円、10万円になっても、  
ずっと固定で「1,000円」をベットする方法が単利運用です。



では、なぜ今回は単利運用ではなく、複利運用を採用するのか？

もうおわかりになるように、複利運用は単利運用より  
効率的にお金を早く増やせるからです。

これで理屈はわかったと思いますが、まだ、どれほど、「複利運用」が「単利運用」より資金を効率的に増やせるかイメージが湧かない人もいるかもしれませんね。

先ほどの例で示したのは「1万円」での話しなので、少しばかり金額が小さいので、それほどまでに大きな違いがないように感じるかもしれません。

しかも、一度だけの運用の流れなので、「複利の4万円」と「単利の3万円」と、違いは1万円しか見えていません。

ですので、ここでもう少し、より、複利運用と単利運用の資金の増え方の違いについて深掘していきましょう。



## ◆複利運用と単利運用の資金の増え方の違い

実際に単利運用と複利運用の資金の増え方の違いを表にしてみました。

《表の取引条件》

- 元手資金1万円スタート
- 単利運用の場合は、ベッド額が「1,000円一定」
- 複利運用の場合は、元手資金の「10%」をエントリー額とする
- ペイアウト額は「1.95倍」  
(ハイロー(HighLow)でのturboの1分スタイルのトレードです)
- 10エントリー中10勝ち、と設定してます

取引回数	単利運用	複利運用	複利運用 (エントリー額)
1	¥10,950	¥10,950	¥1,000
2	¥11,900	¥11,990	¥1,095
3	¥12,850	¥13,129	¥1,199
4	¥13,800	¥14,377	¥1,313
5	¥14,750	¥15,742	¥1,438
6	¥15,700	¥17,238	¥1,574
7	¥16,650	¥18,876	¥1,724
8	¥17,600	¥20,669	¥1,888
9	¥18,550	¥22,632	¥2,067
10	¥19,500	¥24,782	¥2,263

単利運用は、ベット額が1,000円固定ですので、利益は毎回950円しか増えません。

※1,000(ベット額)×1.95=1950円(ペイアウト額)  
1,950(ペイアウト額)−1,000(ベット額)=950円(利益)

しかし、複利運用の場合、ベット額を徐々に増やすことが可能なため、資金が圧倒的に単利運用より増えています。

10回目のトレードをみると、単利運用の資金が「**19,500円**」になっているに対し、複利運用の資金は「**24,782円**」になっていますよね。

その差額は「**5,282円**」です。

更に、取引回数を増やせば増やすほど、単利運用と複利運用の資金は差を大きく開きます。

## ◆複利運用のエントリー額

・ベット額は資金の「10%」です

複利運用で資金を増やす場合、ベット額は、  
※「元手資金の10%」までに抑えてください。

仮に10%以上の20%、30%にした場合、  
早く増えますが、その分、底をつくりリスクがあります。

単純に、20%以上の資金管理法はリスクが大き過ぎるのです。

リスクが大きければ、安定的に資金を増やすことは厳しいですので、  
必ず、元手資金の10%までに抑えましょう。

先ほどの表を例に、どのように複利運用するか、  
ここでさらに詳しく見てみましょう。

《資金10,000円の場合の例》

元手資金	ベット額 「10%」	ペイアウト率 1.95倍	差額の利益	総額
	10%でベット	↓勝ち		
¥10,000	¥1,000	¥1,950	¥950	¥10,950
↓増えた総額	再び10%でベット	↓勝ち		総額が増える
¥10,950	¥1,095	¥2,135	¥1,040	¥11,990
↓増えた総額	また10%でベット	↓勝ち		総額が増える
¥11,990	¥1,199	¥2,338	¥1,139	¥13,129
これを繰り返してくださいね。				

・負けてもエントリー額は「10%」を保持

《資金10,000円、負けが途中である場合》

元手資金	ベット額 「10%」	ペイアウト率 1.95倍	差額の利益	総額
	10%でベット	↓勝ち		
¥10,000	¥1,000	¥1,950	¥950	¥10,950
↓増えた総額	再び10%で ベット	↓勝ち		総額が増える
¥10,950	¥1,095	¥2,135	¥1,040	¥11,990
↓増えた総額	また10%で ベット	負け↓	利益なし	総額が減る
¥11,990	¥1,199	¥0	¥0	<b>¥10,791</b>
減った総額↓	でも必ず 10%のベットを 保持	↓勝ち		総額が増える
<b>¥10,791</b>	<b>¥1,079</b>	¥2,104	¥1,025	¥11,816
負けを取り返そうとはしない				
↓増えた総額	再び10%でベット	↓勝ち		総額が増える
¥11,816	¥1,182	¥2,304	¥1,123	¥12,939
負けがあってもベット額は「10%」でしましょう				

マインドの項目でも、私の考えは明確にしましたが、  
「マーチンゲールの法則」は愚か者の手法です。  
(※負けたら、次の取引で倍の金額でエントリーする方法)

負けても、決して無理に損をした金額を取り返そうなどと  
考えてはいけません。  
「総額資金の10%」で淡々と冷徹にエントリーしましょう。

## ◆限度ベット額は最高20万円・そしてリセット

**本CLUBは目標総額金額「200万円」を1セットとしています。**

これには理由があります。少し丁寧に順を追って説明しますね。

人によって元手資金は、もちろん違いますよね。  
1万円ぐらいからの人もいれば、10万円以上の人もいますでしょう。

その元手の10%をベットして複利運用するわけですから、  
元資金10万円の場合なら、最初のベット金額の1万円から、  
1万950円～2万4782円と、徐々に増えていきます。

何か特別な事情がない限りは、しばらく出金せず、  
総額の「10%」でベットし続けます。

しかし総額金額「200万円」を上限目標にして、  
その目標に達したら、今度は必ず、

**「120万円」以上～から「全額」を出金してください。**

もちろん総額資金が200万円以上になっても、  
そのまま続けることは可能ですが、ここからのベット金額は、  
どれだけ総額が増えても「20万円」以上は不可能なのです。

これは、ハイロー(HighLow)のルールで、  
ベットの上限額は「20万円」と厳格に定められているからです。

※(20万円を越えてトレードはできません)



(上記の表示が出て、エントリーになりません)

総額が300万円になったからといって、その10%の30万円をベットすることができないのです。

これが第一の理由です。

第二の理由は、「マインド」の項目でも触れたように、**200万円以上の元資金による多額のベットは、精神面へ及ぼす影響が大きい**からです。

せっかく順調にコツコツと複利運用にて「200万円」まで到達したのに、毎回、毎回、上限額である「20万円」をベットしては、どこかで精神バランスが崩れていきます。

「20万円」を1.95倍儲けることも、  
「20万円」を一度に失うことも、  
当たり前という感覚におちいるのです。

「マインド」の項目でお伝えしたことを思い出してください。

総額の元資金が「10万円」ではじめたはずの人間が、一度で「20万円」を失っても当たり前なんて精神状態、あきらかにもう、おかしいですよ？

最初は、それこそ1万円でも慎重にベットしていたはずなのに、もっといける、まだいける、というマインドにおちいっていきます。

そういったマインドになった時点から、損という負けがはじまるのです。「20万円」失っても、どうせすぐ取り返せる、などという勘違いをしはじめるのです。

こうした考えが、わずかでも、あなたのマインドに芽生えたら、あなたはその時点で、ただのギャンブラーと成りはてています。

そこで、本CLUBでオススメしているのは、

上限総額目標金額を：「**200万円**」に定め、

そこに達したら、

**「120万円」出金してください！**

これこそ、私が掲げる、最終的な利益確保、

**「月収100万円が可能になるバイナリーオプション」**です。

## ◆資金運用と管理／リセット方式

「月収100万円が目指せるバイナリーオプション」  
リセット方式

目標総額金額:「200万円」

- ① 元資金はどれぐらいが目安なのか？  
→【元資金は無理のない範囲で決める】
- ② ベット金額はいくらにするのか？  
→【ベット金額は「元資金」の「10%」】
- ③ 利益が出た場合、その利益分をどのように使うのか？  
→【複利による総額利益の「10%」を繰り返す】
- ④ 損が出た場合、次の段階はどのように対処するか？  
→【損が出て、ベット金額は「元資金」の「10%」を保持】
- ⑤ 出金のタイミングは？  
→【目標金額に達するまで出金はしない】  
↓  
→【目標総額金額「200万円」に到達！】  
↓  
→【**出金**】！
- ⑥ 出金する場合、金額はどれぐらいが良いのか？  
→【「120万円」以上～「全額」を必ず「出金」】  
→【「出金」分は銀行へ移す】
- ⑦ 出金した後は、どのように次のステップに進むのか？  
→【**「リセット」**する】  
元資金は最初の金額でもよいですし、  
出金した後の残額で再トレードを開始してもよいです。  
↓  
①に戻り、再び同じ方式でトレードを繰り返す



## ◆さいごに／人類最大の発明・複利

“ *Compound interest is man’s greatest invention.  
He who understands it, earns it. He who doesn’t, pays it.* ”

「複利は人類による最大の発明だ。

知っている人は複利で稼ぎ、知らない人は利息を払う」

こちらは、かのアインシュタイン博士が残した有名な言葉です。  
(他にも、Compound interest is the eighth wonder of the world.など諸説あります。  
ご興味のある人は調べてみてください)

有名な投資家や金融のカリスマ的な人物が言った言葉ではなく、  
相対性理論でお馴染みの天才理論物理学者による言葉なのですから、  
いかに「複利」というものが理にかなっているか、納得しますよね。

知れば誰でも納得できて、  
また誰にでも簡単にすぐに実践可能な事柄なのに、  
なぜか見落としがちなのが、この「複利」なのです。

ここの項目では、複利運用を使って、  
いかに上手に資金を回し、着実に増やし、  
そして、きちんと出金をするところまでお伝えしました。

目標総額金額を「200万円」に設定し、目標に達したら、  
「120万円」以上を出金し、一旦リセット。

そのまま残高から再スタートしてもよいですし、  
ここをさらに慎重に行きたい人は、また最初の元資金(10万円ではじめたなら10万円)で再スタートしても良いです。

「100万円以下」の元資金にしましょう。

なぜなら、私が掲げる、  
「月収100万円が可能になるバイナリーオプション」なら、

(トレードをする時間帯、時間数、日数での違いはありますが)

概ね、元資金「3万円」もあれば、  
約4週間程度で、目標総額金額「200万円」に到達することが  
誰にでも目指せるのですから。

次の項目では、実際にトレードをして、見事に  
目標総額金額「200万円」まで達した人たちの、  
サンプル事例をお見せします。

その人たちがどのように資金運用をして、  
またどのようにバイナリーオプションをしたのか、  
良い参考にしてください。

松岡ゆず